

皆さん、おはようございます。

仕事納めに当たりまして、一言、ご挨拶申し上げます。

今年を振り返りますと、全国の方々から公募で選ばれる「今年の漢字」が「災」とされたように、島根県を含め日本全体で大きな災害が多かった年でした。

島根県内では、4月に県西部を震源とする大きな地震による被害がありました。

7月の豪雨では、県内各地で大きな被害がありました。この豪雨では、JRも運休となるなど、通学や観光にも大きな影響がありました。

このため、県としましては、被災された方々の生活再建などの支援や復旧復興に全力をあげて皆さんとともに取り組んでまいりました。

さて、こうした中、島根では、うれしいことも沢山ありました。

スポーツ面では、4月に「世界シニアバスケットボール大会」、8月には「世界少年野球大会」が松江市で開催されました。

世界各国から選手、関係者を迎え、スポーツを通じて交流・友情をはぐくむ場となりました。

また、全日本中学生ホッケー選手権で横田中学校男子ホッケー部が優勝するなど、若者の活躍もありました。

また、島根県内では、島根の豊かさ、良さが県外の人々に段々知られるようになり、観光客が増えてきました。

出雲空港では、3月に出雲－静岡便、4月に出雲－仙台便が新たに就航し、また、7月には出雲市と鳥取市を結ぶ観光列車「あめつち」の運行が開始されるなど、ありがたく、うれしい動きがありました。

また、浜田港や隠岐に初めて外国クルーズ船が寄港するなど、新たな形で島根へ訪れていただける動きが進んでいます。

こうした中で、出雲大社には、「縁結び」というイメージも全国に広がり、全国各地からお越しいただく動きとなりました。

このように、島根の魅力は確実に広がっているように感じています。

松江周辺のように大きな湖が二つも連なっているような自然のある地域は、日本全国でもそう多くありませんし、国宝松江城は、天守が古いまま残っており、周りに豊かな自然もあるといった全国的にも多くの人々が関心を持つお城となってきています。

また、島根には、隠岐の雄大な自然や、豊かな緑に囲まれた石見銀山など、魅力ある場所が各地にあります。

こうした島根の状況を見ますと、島根のPRをさらに進める努力をしていかなければいけませんし、そうすれば、もっと観光客は増えると思います。

また、こうした島根のプラスのイメージは、県外からの企業立地、UIターンの増加などにもつながるものと思います。

さて、年が明けますと、来年度の予算編成を仕上げて、議会と県民の方々のご理解をいただく作業が必要となります。

「総合戦略」に盛り込んだ各般の取組みを適切かつ迅速に実施することが大事であります。各部局で検討・調整をよろしくお願いします。

明日から年末年始の休みに入ります。皆さんにはゆっくり休養をとられ、英気を養っていただきたいと思います。

そして来年が県民の皆さんにとりまして、明るく、活気のある年となりますよう、県庁一丸となって、頑張っまいるまいりましょう。

終わりに、県民の皆さん、職員の皆さん、それぞれよい年をお迎えになられますよう、お祈り申し上げまして、私の挨拶と致します。